あなたが飲むおくすりは
グリメピリド錠「JG」です

グリメピリド錠「JG」は、すい臓にはたらきかけて
インスリンの分泌を促し、血糖*を下げるおくすりです。

□ グリメピリド錠0.5mg「JG」

□ グリメピリド錠1mg「JG」

□ グリメピリド錠3mg「JG」

*ヘモグロビンA1c（HbA1c）、食後血糖、空腹時血糖

おくすりの飲み方と量

あなたの症状などにあわせて、お医者さんが決めます。
通常、1日0.5～1mgより開始し、1日1～2回朝または朝夕、食前または食後に服用します。維持量は通常1日1～4mgで、必要に応じて適宜増減し、1日最高投与量は6mgまで処方されます。

日本ジェネリック株式会社

おくすり（グリメピリド錠「JG」）を飲むときに注意すること

- コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- 自分の判断でおくすりを中止したり、おくすりを変更したりすると病気が悪くなることがあります。
- 指示された時間に飲むのを忘れてしまったら、1回とばして次の指示された時間から飲んでください。
- 決して2回分を一度に飲まないでください。（低血糖症を起こすことがあります）
- お医者さんまたは薬剤師の先生の指示通りに飲んでください。
- 誤って多く飲んだときには、お医者さんまたは薬剤師の先生に相談してください。
- 発熱、下痢、嘔吐（おうと）があり、または食欲がないため食事ができないときは、お医者さんに連絡して指示を受けましょう。

低血糖の対処法

- だるさ、強い空腹感（くうふくかん）、冷や汗、動悸（胸がドキドキする）、手足のふるえ、意識（いしき）が薄（うす）れる、などの症状があらわれることがあります。その場合はすぐに砂糖あるいはブドウ糖を摂取し、意識が薄れてきた場合はただちにお医者さんに連絡してください。
- α－グルコシダーゼ阻害剤のボグリボース（商品名：ベイスン®など）、アカルボース（商品名：グルコバイ®など）、ミグリトール（商品名：セイブル®）と併用をしているときに低血糖症状が認められた場合には**ブドウ糖**をとりましょう。

≪保護者の方へ≫

小さなお子様の場合には低血糖の症状が分からずに、自分で対処できないことがあるため、「低血糖かな？」と思う症状があらわれたときには砂糖やブドウ糖を摂取させ、よくならないときは主治医にみてもらうようにしてください。

2012年12月作成
GLIME-PG-02